

教科名

学年/組

第2学年2組

単元名

単元2 生物の体のつくりとはたらき

日付

令和3年6月30日

場所

理科室

授業者

千々和 隆博

主題

デンプンに対するだ液のはたらきを調べる実験を通して、だ液がデンプンを分解し、糖にするはたらきがあることを説明することができる。

めあて

だ液がデンプンにどのようなはたらきをするか説明しよう。

まとめ

だ液はデンプンを分解し糖にするはたらきがある。

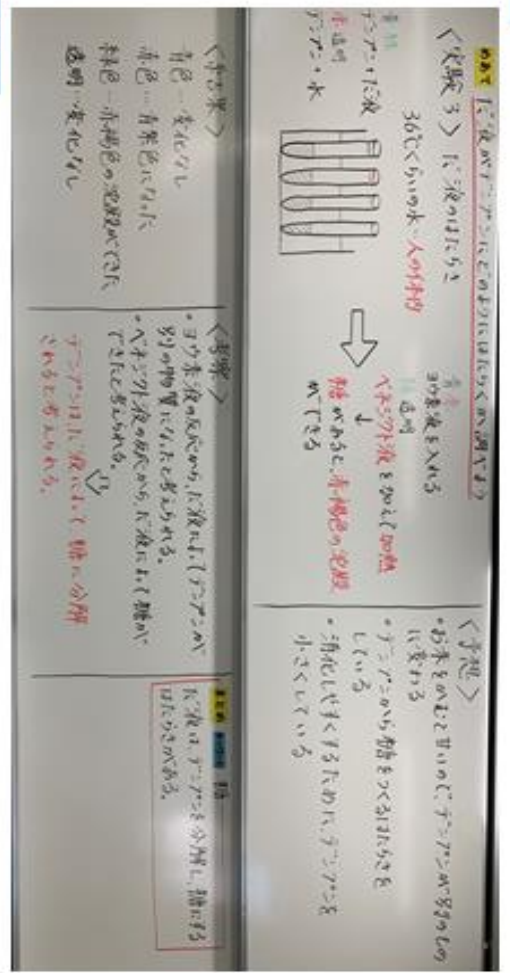
準備

ホワイトボード、ペン、学習プリント、タラシ

主体的・対話的で深い学びの工夫

○実験の結果を比較し、総合的にデンプンに対するだ液のはたらきを考えさせる。  
○考え方の道筋を示し、十分な時間をとって、生徒自ら結果から考察できるようにする。  
○自ら考えた考察をもとに、班で意見を共有し、考えを深めるようにする。

過程



本時の流れ

①前時の予想を提示し、実験を振り返り、結果を比較し班で共有する。  
・水+デンプンの試験管 →ヨウ素液を入れると青紫色に変化。  
・だ液+デンプンの試験管 →ベネジツト液で赤褐色の沈殿が生じた。

②実験の結果から、考察を個人で考える。  
「結果から〜ということが考えられる。」

③個人で考えたことと、班で考えを共有し、学級全体で共有する。  
【思】だ液のはたらきについて見直しをもって解決する方法を立案して実験を行い、対照実験の結果を分析して解釈し、だ液のはたらきを見いだし表現している。(レポート)

④本時のまとめ、振り返りを行う。

前時の実験の結果を班で共有しよう。

実験の結果からだ液についてどのようなことが考えられるか。

考察を全体で共有しよう。

今日のまとめ振り返りを行う。

北九州市立尾倉中学校 学校通信 第50号



おぐら倉

校訓  
自主  
創造  
協力



令和3年7月5日(月)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

## 授業づくり共同研究公開授業(2年理科)が行われました

6月30日(水)5校時に2年2組で理科の授業公開を行いました。これは、本年度北九州市教育委員会から指定された「授業づくり共同研究」の一環です。この「授業づくり共同研究」は、『主体的・対話的で深い学び』の視点に立ち、ICTを活用した授業づくりについて有効な手だてを明らかにし、その成果を市内の各学校に普及する』『研究協力校から推薦された、授業づくり共同研究員の授業づくりを基に、研究協力校の主題研究を支援するとともに、若年教員を中心とした校内研修を活性化し、人材の育成を目指す』ことを目的としています。考察の場面の授業でしたが、2年2組の生徒はグループで熱心に学習に取り組んでいました。また、考察の内容、振り返りの内容もすばらしいものでした。理科の力をどんどん伸ばしてください。

この単元の目標は、以下のとおりです。

- 消化や呼吸についての観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果などと関連付けて理解する。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解する。
- 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系および運動器官のつくりと関連付けて理解する。
- これまでの生物の体のつくりと働きについての学習などを通して、生命を維持する仕組みについて理解する。

